

OBL 会第 2 回書記会員交流会を開催

自治労会館で会員書記 10 名が参加、旧交を暖める

自治労北海道本部 OBL 会は、6 月 5 日(金)、自治労会館 4 階「第五会議室」において第 2 回目の書記会員交流集会を開催し、書記会員 10 名が参加して旧交を暖めました。

なお、第 1 回目は 3 年前の 2012 年次に自治労道本部直属支部代表者と OBL 会書記出身世話人との意見交換会として開催したので、書記会員全員を対象の交流会は、今回が実質第 1 回目となります。

開会冒頭、OBL 会三輪修彪・世話人代表があいさつ「OBL 会は、170 名を超える会員となった。直属支部から松尾・菅井・藪さんを中心に、事務局を運営している。今日、世の中あわただしい。安倍独裁政権だが来るべき反撃の時期が遠からず来る。そのためにも情報を交換しながら頑張ってもらいたい。自治労は厳しい時もあった。自治労本部、連合で役員として担っている方もいるが支えるためにも頑張ってもらいたい。」と述べました。



書記会員交流会に参加した直属支部出身会員(後列左端は、谷川広美会計部長)

集会の最初に OBL 会の事務局長を務める松尾信弘・世話人が「OBL 会の現状と活動」を報告しました。

＜OBL 会の組織化と会員数＞

OBL 会は、2000 年 4 月自治労道本部の役職員経験者、特別執行委員及び経験者、並びに世話人会が推薦する者をもつて構成している。

OBL 会の会員は、2000 年に結成され当時 80 人強の会員でスタートしたが、本年 1 月の定時総会時点で 174 名の会員となっている。

OBL 会で直属支部出身会員は 27 名いるが、全労済への身分移管で今日も現役で働いている会員もあり、今回の出席は 10 人とどまった。



写真左・懇親会風景

写真右・参加の女性会員

＜OBL 会の活動と交流会＞

OBL 会は、その会則で会員相互の交流と親睦をはじめ、会員間の友情と連帯の輪を深める、ことを目的としている。

会の行事は、会則で年 3 回の交流会開催を定め、今日では、1 月末の定時総会・交流会、5 月～6 月の中間時交流、そして 10 月の秋期学習・交流会と定例化が定着してきた。

今回の書記会員集会は、中間時交流の一環として開催した。

また、秋の学習・交流会も時節を得た課題で「勉強会」とも位置づけで開催し、今年も 10 月に開催することになっている。

＜OBL 会の役員体制＞

OBL 会は、世話人会体制で執行機関として運営しているが、現在、直属支部の会員から 9 人の世話人中、3 人の直属出身会員が世話人として頑張っている。

＜今後の活動強化に向けて＞

OBL 会は、何よりも会員間の友情と連帯の輪を深めるとの会則に沿って運営することにしている。今後ともご支援ご協力をお願いしたい

と OBL 会の現状と課題を訴えました。

また今回は、現役の直属支部出身役員である谷川広美さん(会計部長)・渡部裕幸さん(情宣部長)、直属支部の佐々木直人・支部長が出席、現状報告をいただきました。

<直属支部・佐々木直人支部長>

道本部直属支部・佐々木直人支部長は、「自治労は現在大変厳しい状況下にある。全国的にも全道的にも組合員数・単組数も減少している。自治労共済と全労済との統合で自治労共済担当の書記が全労済に戦線移行した。現在定数的には定数どおり配置されているが、地方本部では、専従役員のなり手が不足し、書記局から地方本部派遣も取りざたされている。先輩各位の支援・協力を得て、これからも頑張っていきたい。」と報告がありました。

<谷川広美・会計部長>

現在道本部に直属支部出身者で執行委員に選出されている谷川広美・会計部長、渡部裕幸・情宣部長が出席し、代表して谷川広美・会計部長は、「書記出身の立場で、先輩から引き継いだ自治労運動の歴史を後輩に引き継ぐために、これからも頑張っていきたい。」と決意を述べました。

その後、出席者全員で記念撮影を行い、第二部の交流会へ移り、時間の許す限り交流を深めました。

10月16日に秋期学習・交流集会開催

2016年1月29日(金)、16年次の定時総会を開催

OBL 会は、5月8日(金)に自治労会館 OB 室で第3回世話人会を開催し、恒例の秋期学習・交流集会を10月16日(金)に自治労会館・4階「第四会議室」で開催することを確認しました。

今年次の学習会では、OBL 会の会員でもある、峰崎直樹・元参議院議員に講師をお願いし、仮題「右傾化を強める安倍政権、アベノミクスと日本経済」と題して講演をいただく予定です。

また、2016年次の定時総会は、16年1月29日(金)、午後4時から開催する予定で、自治労会館・4階「第四会議室」を確保しています。

以上の件は、開催の約ひと月前に OBL 会員に案内する予定です。

< 訃報のお知らせ >

山田 剛さん(全道庁札幌総支部)が逝去

道本部副委員長、道平和フォーラム事務局長等歴任

OBL 会の会員で、自治労道本部執行委員(組織部長)、副委員長を歴任した山田剛さんが 2015 年 4 月 16 日ご逝去されました。

故・山田剛さんは、全道庁札幌総支部出身で、民間会社を経て 1978 年から道庁勤務。組合では、全道庁札幌総支部の委員長、北海道平和フォーラムの事務局長、連合北海道の執行委員など、自治労道本部、全道庁、道平和フォーラム、連合北海道など幅広い分野で活躍、2013 年からは自治労道本部の嘱託として勤務していましたが、近年体調を崩され入退院を繰り返していましたが、4 月 16 日急逝されました。満 63 歳でした。(合掌)

[編集後記に代えて]

- 2012 年末、突然の解散総選挙により圧勝した安倍政権は、数を頼りにした強引な国会運営は目に余るものがある。国会審議の中で、民主党議員の質問中「早く質問しろよ」ヤジを飛ばし(のちに謝罪)、質問していないことに延々と答弁し、特別委員会の委員長から注意されるし始末だ。また同特別委員会では、3 人の参考人全員が「集団的自衛権は憲法違反」の認識を示した。自民・公明・次世代の党推薦の委員すら「違憲」の意見表明をしたが、そもそも前回総選挙で自民党の公約にも無い「集団的自衛権」行使について等々、右傾化をますます強める。自民党安倍政権に対し、「解散して信を問え」との世論は当然である。
- 今年次の中間時交流会は、実質初めてとなる直属支部会員交流会を開催した。直属支部出身の会員は 27 人在籍するが、自治労共済と全労済との統合により 7 人が移行した。当然、勤務をもつ会員でもあり平日参加は厳しい状況にもあり、今回 10 名の参加数は止むを得なかったかな、とも思う。次回さらに開催時期・時間等を考慮したい。今回も自治労道本部情宣部長の渡部裕幸さんに写真撮影と OBL 会ニュースへ写真の取り込みをお願いした。開催当日は、自治労道本部の中央委員会と開催が重なり、冒頭の三輪代表の写真撮影は間に合わず掲載できなかった。いつも現役の皆さんに助けられることが多い。感謝・・・

(OBL 会事務局長・松尾信弘)